

発達障がいのお子さんの

身近自立と生活習慣

～食事・睡眠・トイレトレーニング～

「偏食があり、ポテトチップスしか食べない」
「トイレトレーニングを3年続けているがなかなか成功しない」
「歯ブラシを見ると走って逃げてしまう」
「夜寝かしつけるのに何時間もかかってしまう」
「給食もおやつも一切食べない、飲まない」

毎日の生活の中でのお子さんの気になる行動を、応用行動分析学(ABA)の観点から分析し、身近自立や生活習慣を改善させるためのステップを紹介します。実際のケースを紹介しながら、アセスメントのとり方や介入プラン、介入を成功させるポイントなどその日から実践できる事をわかりやすく説明します。

※応用行動分析学(ABA)を使った介入は、効果的に偏食や異食を改善する事が様々な研究で実証されている、エビデンスベースの介入方法です。

応用行動分析学の実践ワークショップを3月17日(土曜日)開催します!

対象 保護者、幼稚園と学校の先生、学生、特別支援に関わる方

参加費用 **3,000** 円/人

定員 20名

申込方法 ホームページの入力フォームに必要事項をご記入し送信してください。
申し込みフォームは当サイト www.children-center.jp まで。
※ご入金確認後、お申込み完了とさせていただきます。

2018
3/17 土
朝 10:00 ~ 12:00

会場:
チルドレン・センター
〒150-0012
東京都渋谷区広尾1-5-9
ミドルリバー広尾 302

ワークショップの内容

- 応用行動分析学(ABA)て何?
- どうして食べないの? 寝ないの? 着替ええないの?
気になる行動を応用行動分析学の観点から分析
- どうやって改善するの? 具体的な介入方法の紹介
- どうしてABAを使うの? エビデンスベースの大切さ
- 誰のため? 何のため? 倫理的観点の大切さ